

松本先生のご退職に寄せて

立春の候、西洋史同窓会の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃より同窓会へのご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。私は同窓会担当の武田香子と申しまして、現在は千葉県公立高等学校の社会科教員として勤務しております。

このたび、松本悠子先生のご退職にあたり、人文科学研究所主催「談話会」を開催する運びとなりましたのでご案内させていただきます。

松本先生は1993年4月より29年の長きにわたって学生を熱心にご指導され、西洋史学専攻の発展に貢献されてきました。特に研究テーマの現代アメリカ史やジェンダー論の分野においては松本先生の鋭い分析かつ新たな視点に刺激を受ける学生も多く、「松本先生の元で学びたい」、「松本先生の講義を聴いてアメリカについてもっと知りたいと思うようになった」という声が多く寄せられたと伺いました。私自身は1988年に大学を卒業しましたので、残念ながら在学中に松本先生の講義を聴く機会を得られなかったのですが、同窓会の用件で西洋史研究室を訪れた際など気さくにお声かけいただいたり、先生のお言葉から温かいお人柄が垣間見えたり、先生が話してくださった学生時代のエピソードがとてもおもしろかったり、周囲へのさりげないお心遣いに感激したことも少なくありませんでした。また、松本先生は「学生が学びに専念できるより良い環境を整えたい」という思いを強く持っていらっしゃる方でもありました。それは阪口修平先生の最終講義の際に西洋史の先生方から一言ずつご挨拶を頂いた時のことですが、阪口先生がボクシング部などの体連の学生を支援していたことに松本先生が言及され、「私は学生の本分は勉強だとずっと思ってきましたが、中大に勤務するようになって、さらに身近な存在だった阪口先生の活動を見て、大学における学生スポーツの重要性を阪口先生から教えられました」とおっしゃっていました。これも松本先生の懐の深さや多様な学生を大切に思うお気持ちをご紹介するエピソードだと存じます。

このたび、オンライン会議システムで松本先生の講義を聴く機会を頂きましたこと、西洋史同窓会として感謝の気持ちでいっぱいです。かつて松本先生の卒論指導を受けた方はもとより、松本先生の講義を受けた皆様も先生のお声を聞いた瞬間に中大での学生時代が懐かしく思い出されることでしょう。さらに、松本先生の長年にわたる研究への情熱、思いなど学ばせて頂けましたらこんなにうれしいことはありません。

今後とも松本先生のさらなるご活躍をお祈りし、同窓会のご発展を祈念申し上げ、ご挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。

武田香子